



創政クラブ
中田清介議員

人口ピラミッド予測と2040年問題への対応について

問 将来の状況から逆算して今から準備しておく手法「バックキャストリング」で政策を整える必要性がある。

答 総務省の有識者研究会の報告「自治体戦略2040構想」にあるように、高齢化がピークを迎える2040年頃を見据えた課題とその対応を十分留意するという方向で、今後総務環境委員会とも協議をしていきたい。

問 2040年問題の課題は多岐にわたる。現在の縦割り行政の中では、マーケティング部門を組織の中に位置づける必要性があるのではないか。

答 総合的な人口対策は企画部が、経済的な戦略等については商工観光部が海外戦略部や農

政部・ブランド戦略課と連携し担当している。高度かつ専門的な知見の活用やその推進体制整備の必要は認識。推進組織についても今後検討する。

問 バックキャストで危機感はあるが具体的な議論でどう対応するのかが問われる。多岐にわたる課題への対応には、広範な市民の参加による将来世代の視点を取り入れた政策立案が必要。岩手県矢巾町はその考えを取り入れている。市民協働の考えが必要。

答 フューチャーデザイナーという手法は、都市政策部の「まちづくり勉強会」で一部採用しているが、今後その他の有効な手法も積極的に活用していきたい。

今回で十回目
地域別市民意見交換会
たくさんのご意見ありがとうございます

11月7日から22日の間、市内21か所で地域別市民意見交換会を開催しました。お忙しい中、昨年とほぼ同数の357人の方にご参加いただき、ありがとうございました。

今回は、各地域に何う議員数を見直し3人を1グループにする取り組みとしました。なお、支所地域の3か所は2グループ、6人の体制をとりました。

特に、これまでも繰返し意見がありました行政要望の件に進展がないことへの住民側の苛立ち感を取り去る対応とともに、意見の一部についての返答を早い時期に関係者の方々に直接送付することなどを考えています。



奥飛驒温泉郷地区

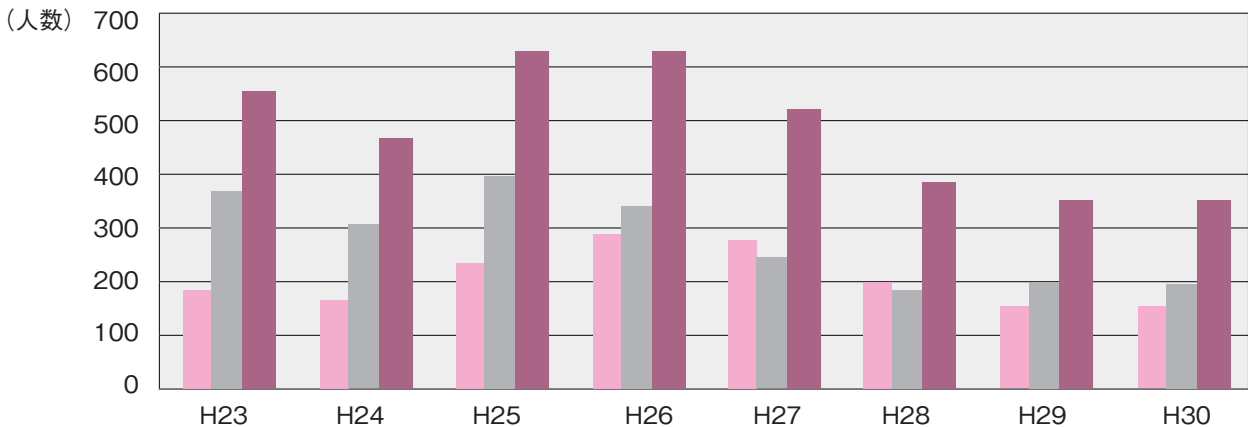


新宮地区



荘川地区

地域別市民意見交換会参加人数の推移



年度区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
高山地区・11地区	186	165	232	288	276	197	154	159
支所・10地区	370	305	398	343	246	189	200	198
合計・21地区	556	470	630	631	522	386	354	357

(人)